

巻くのやめて 任せてみない？



石坂電器株式会社

一人一人が心を通わせ知恵を出し合う
未来へつなぐモノづくり



伊勢崎市

住所 伊勢崎市波志江町1777
TEL 0270-24-2983
URL <https://iszk-gr.jp/>
代表者 石坂 剛司
設立 1964年6月
資本金 1,500万円
従業員 138人



企業紹介

当社は、伊勢崎市に2工場、前橋市に1工場と地域に根付いた会社です。主要事業はコイル製造やアルミパイプ加工です。一人一人が心を通い合わせ、知恵を出し合う「和衷協同」の精神でモノづくりに向き合います。



石坂電器本社工場

経緯・背景

脱炭素に向けた動きが加速している中で、石坂電器ではSDGsの宣言書を作成し、CO2排出量の削減など2030年までに達成すべき目標を設定しました。目標を設定することで社員全員が同じ姿勢でSDGsに取り組めるようになったとともに、取引先様や求職者の方々にも石坂電器の活動に共感を持っていただけるようになりました。最初はSDGsの活動の進め方に悩むこともありましたが、「まずはできることからやってみる」を積み重ねて前進してまいりました。

データの各月管理で着実に 目標に近づく、データで 計れない満足まで実現へ

具体的な取組・成果

- 環境データの各月管理
毎月、電気使用量・廃棄物・リサイクル量の管理を行い、目標に向けて進捗を確認しています。
仕入材料も含めたCO2排出量の把握を進めており、Scope3の立場でお客様へ環境データの提出も行っていきます。



工場の屋根に設置されたソーラーパネル

- 環境に配慮した製品の開発・量産
高圧水素タンクの電磁弁に搭載されるソレノイドコイルを共同開発しました。従来のガソリン車向けの製品だけでなく、水素燃料への領域にも一歩踏み出したことで、排出されるCO2の削減に貢献できればうれしいです。
銅電線のコイルよりも重量が軽い、アルミ電線のクラッチコイルを量産しており、微量ながら搭載・輸送時の燃費の向上に寄与しています。
- CO2排出量の削減
2030年にCO2排出量を50%削減（2018年度比）することを目標にしています。全3工場の屋根に太陽光パネルを設置し、発電量は一般家庭のおよそ20世帯分の電力量に及びます。クリーンエネルギーで生産活動の電力の一部をまかなっています。
また、フォークリフト及び社用車を100%EV化することを目標にしています。昨年度はEVの社用車を2台導入し、フォークリフトは所有する7台全てをEVに切替え、着実に目標に向け近づいております。
その他、全3工場の照明をLEDに入れ替えるなど、電力消費を低減する投資を続けています。



社内マルシェでお配りした野菜

- 雇用環境への取組、地域社会との連携
社員の方々へ日頃の感謝の気持ちを込めてマルシェを開催しました。近隣の農家様や飲食店様に協力いただき、お弁当や野菜などを社員へ無償で提供しました。美味しいものを食べて、健康に、そして元気に勤めてほしいという思いを込めたマルシェです。近隣地域と石坂電器のつながりも深めることができました。



当社にとってのSDGsビジョン

社員と企業と社会のつながりを大切に、好循環の輪を生むことが石坂電器にとってのSDGsビジョンです。一人一人が行っている日常業務や普段の生活が社会に影響を与えることを意識し、持続可能な社会の実現のために動き続けます。

今後の展望と求めるパートナー像

多くの方々の支えのおかげで、石坂電器は創業60周年を迎えることができました。今まで当社にご理解・ご協力をしていただいた方々はもちろん、より良い未来を望む全ての方々にパートナーだと考え、これからも知恵や工夫を結集したモノづくりにチャレンジしていきます。